

コード	304010902
記入日	H25.5.22

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	村中 佳夫

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	有川保育所耐震改修事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	3
事務事業コード	3040109	事務事業名称	保育所施設管理事業	細目コード	1314
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 入所児童数		(対象指標1)	26人				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
・安心安全な保育のために、耐震診断に基づき耐震補強設計を行い、耐震補強工事を実施する。また、老朽化による軒裏が危険な状態であるほか各部屋の床にカビが発生しているため改修も行う。 →耐震設計委託 1.0式 →耐震改修工事 1.0式 (H23繰越事業)	・不測の事態（地盤等の沈下）により、繰越事業となり、本年度に改修工事を実施した。 →耐震改修工事 51%（繰越額分）	① 耐震設計委託	1.0式	100%	耐震設計実績÷耐震設計計画	平成23年度	
		耐震設計委託	1.0式	100%		平成23年度	
		(達成率分析)	耐震設計については、計画どおり実施できた。				
		② 耐震改修工事	100%	100%	工事実績÷工事計画	平成24年度	
		耐震改修工事	51%	100%		平成24年度	
		(達成率分析)	繰越事業となったため、前年度支払残額を事業実績とし、予定通り改修することができた。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
・安心安全な保育を行うため、耐震診断に基づき補強工事を行う。これにより、入所児童の安全性の確保と施設の延命化が図られる。		① 安全利用日数	365日	100%	安全利用日数÷365日	平成24年度	
		安全利用日数	365日	100%		平成24年度	
		(達成率分析)	繰越事業となったが、予定通り改修したことにより、安心して安全に利用できるようになった。				
		② *****	*****	*****	-	*****	
		保育環境の向上	-	-		平成24年度	
		(達成率分析)	繰越事業となったが、予定通り改修したことにより、安心して安全な保育環境の向上が図られた。				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 24		23年度以前	24年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① %	100	100	100	100	100
	② %	100	100	49	51	51
成果指標	① %	100	100	-	100	100
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	15,729	15,729	7,997	7,732	7,732
直接事業費 A	千円	14,329	14,329	7,297	7,032	7,032
人件費 B	千円	1,400	1,400	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.2	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円	10,800	10,800	4,200	6,600
財源内訳	その他	千円				
	一般財源	千円	4,929	4,929	3,797	1,132

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	施設の耐震化が求められており、安心安全な保育を行うためには必要であった。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	改修を行ったことで、計画通り安心安全な保育を行えるようになった。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	工事監理を町で行うなど、経費の削減に努めた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>改修工事の場合には、工事をしてみないとわからない部分があるので、工期に余裕を持った事業計画にする必要がある。ただし、保育所の場合には、移動期間を短くする必要があるので、代替施設を考慮する必要がある。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>本事業の実施により耐震化が図られた。今後も安心安全な保育環境に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。